



Vol.6 尾崎 真人

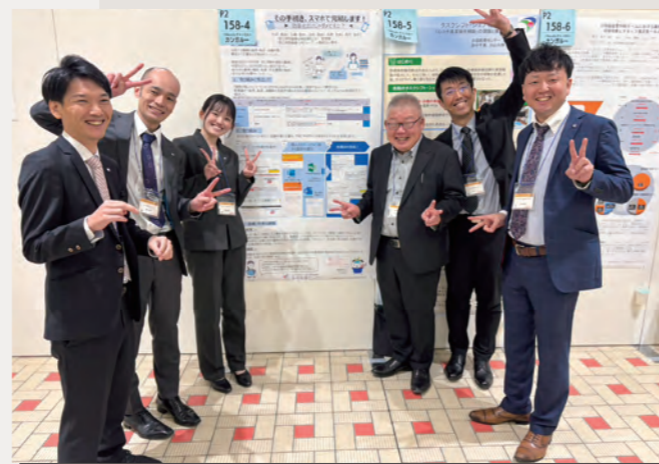
診療情報管理専門職 尾崎 真人
 【出身地】諫早市
 【趣味】MLB観戦(大谷選手)
 【漫画】スラムダンク、キングダム

プロフェッショナル を紹介します!!

ム内に「相談できる場所」ができたことで、現在までに90件の業務改善が行われ年間約4,500時間の効率化が実現しています。これまで手作業で行っていた集計や資料作成の自動化を進めるなど、現場の「少し大変」を減らせるよう日々工夫を重ねています。

診療情報管理士を志したきっかけは何ですか。

医療現場を支える仕事に携わりたいと考える中で、「診療情報管理士」という職種を知ったことがきっかけです。直接患者さんと接する機会は多くありませんが、診療情報を通して医療の質や病院全体を支えられる点に大きな魅力を感じました。診療内容を正確に整理・分析することで、医療の安全性向上や経営改善にも貢献できることを知り、この仕事を志すようになりました。働く中で、データやITの力によって医療現場を支えられる可能性を実感しています。



日常での業務内容を教えてください。

私は診療情報管理士として、診療情報を扱う部署(診療情報管理室)と病院の経営を考える部署(経営企画室)の両方で仕事をしています。患者さんの診療内容が正しく記録されているかを確認し、病院全体の医療データを集めて分かりやすく整理・分析することが主な業務です。

近年は業務効率化やDX推進にも関わり、2024年に発足したDX推進チームは現在までに国立病院機構内で41施設へと活動が広がりました。チー

経験を積む中で、視野や気持ちに変化はありましたか。

経験を重ねるにつれ、個々の診療記録を見る視点から、病院全体を俯瞰して考える視点へと変化してきたと感じています。以前は「正しく入力されているか」が主な関心事でしたが、現在は「電子カルテやITを通じてもっと働きやすい職場にできないか」「病院運営にどのような影響があるのか」「地域中核病院として何ができるのか」を考えるようになりました。他職種との対話を通じて、自分の仕事が医療の質や経営に直結していることを実感し、診療情報やITの面から病院を支えられる点にやりがいを感じています。

仕事で大切にしていること(マイルール)はありますか。

私が仕事で大切にしているのは、「まずは挑戦してみる」という意識です。できるかどうかを最初から考えすぎず、病院や職員、患者さんのためになると思ったことには、実際に行動を起こすよう心がけています。「こうなったらいいな」という思いを大切にし、小さな挑戦から大きな挑戦まで意識することで、何もせず時間だけが過ぎていくよりも、実りある経験につながると考えています。そのためにも、目的を明確にし、「何のための挑戦なのか」を常に意識しながら、日々のスキルアップと仕事に対する誠実な姿勢を大切にしたいと考えています。



推進チームのキックオフミーティング



PCスキルに関するワークショップ

